

第82回小金井市新型コロナウイルス感染症対策本部会議録	日時	令和3年7月28日(水) 9:14~9:40	場所	議場
出席者	西岡市長、住野副市長、大熊教育長、天野企画財政部長、加藤総務部長、西田市民部長、中谷福祉保健部長、大澤子ども家庭部長、若藤都市整備部長、大津学校教育部長、藤本生涯学習部長、北村議会事務局長、高橋庁舎建設等担当部長、梅原企画政策課長、廣田広報秘書課長、宮奈地域安全課長、石原新型コロナウイルス感染症対策担当課長、穂山地域安全係長			
付議事項	1 ワクチン接種について 2 各部連絡事項			
資料	・東京都内の感染拡大に対する防災行政無線等の活用について			
<p>(進行：福祉保健部長)</p> <p>(市長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染者は東京都内も市内も7月中旬以降、急増している。 ・市内の累計感染者は1158名であり、極めて深刻な状況にある。 ・医師会、薬剤師会、訪問看護ステーション等の協力の下、感染拡大防止に努めていく。 ・防災行政無線の内容を変更し、市長の声で録音の上、アナウンスする。 ・総務部では青パトを運行して人流抑制、不要不急の外出自粛のアナウンスを行う。 ・市報8月15日号の市長コラムでもワクチン接種、人流抑制、不要不急の外出自粛について掲載する。 ・市長自身は7月30日に2回目のワクチン接種を行う。 ・ワクチンは2回接種して2週間が経過するとしっかりとした免疫がつくと言われているが、それだけでコロナ以前の生活に戻れることはなく、7割以上の方が接種を終えて集団免疫ができることとされていることから、ワクチン接種の伸展が重要である。 ・庁内でも新規陽性者が出てきており、PCR検査受検者も増加している。各部においては部下の動向収集に努めてもらうとともに、新型コロナウイルス感染症対策担当課長、職員課と連携を図ってほしい。 ・大規模接種は様々な方の尽力により週4日稼働しており、現時点では高齢者に限らず12歳以上の全ての市民を対象とした接種に移行している。 ・50か所の個別接種と大規模接種でワクチン接種を進めているが、一般フェーズの1回目の接種率は30%程度、2回目接種を終えた人は7%にとどまっている。長期的な視点として医師会、薬剤師会等と協議しながら進めていきたい。 <p>(新型コロナウイルス感染症対策担当課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健センターでの集団接種は7月に6回開催し、1400回の接種を実施した。 ・8月9日に保健センターで水曜、木曜、土曜午後、日曜の集団接種を検討している。秋以降は季節性インフルエンザも出始めるほか、近時の新型コロナウイルス感染者数の増加により、個別のクリニックにおけるファイザー製ワクチンの接種が難しいことが背景にある。8 				

月 1 1 日水曜の開始を目指して調整中である。

- ・大規模接種は7月14日から25日までで8日間開催し、8,720回の接種を実施した。
- ・7月26日から前原暫定集会施設でワクチン接種証明の発行を開始した。初日は申請やその他相談で20名が来館し、2件の即日交付があった。コールセンターの委託期間中は委託業者にて証明書発行を担う。

(市長)

- ・大規模接種や保健センターでの集団接種に尽力してくれた方々に感謝申し上げたい。
- ・新規陽性者や発熱患者の増加により、医師会からも搬送車両の運行ニーズが高まっていると言われており、搬送車両の増車に向けて動いている。

(総務部長)

- ・大規模接種の職員によるキャンセル待ち対応について変更はあるか？

(福祉保健部長)

- ・職員による大規模接種のキャンセル待ちは、土日については、概ね連絡から概ね30分以内で来れそうな三鷹～立川の範囲に居住している職員を対象として考えていただきたい。平日については職場にいる人をお願いしたい。
- ・部ごとのキャンセル待ちのローテーションは、変更による混乱を回避するため、変更せず、既存のままとさせていただきたい。
- ・8月11日から保健センターの集団接種を復活させるが、これは市内のクリニックが発熱患者の診療等によりファイザー製ワクチンの接種数の伸びが鈍化することが見込まれていることが背景にある。
- ・健康課ではワクチン接種業務に正職保健師が1名専任で携わっており、さらに月額制会計年度任用職員の保健師もワクチン業務を担っているが、健康課既存業務であるケース対応等の保健師業務の遂行に支障が出てきている。現時点では課内で吸収していくが、場合によっては庁内の保健師、看護師に応援をお願いすることもあり得る。

(学校教育部長)

- ・学校教育部では40代男性職員の新型コロナウイルスへの感染が確認され、30代女性職員が新型コロナウイルスの陽性反応が出ている。30代女性職員は7月22日に発熱したが市民への接触はなく、職場での濃厚接触者はいない。職場は消毒したうえで業務を継続している。市ホームページへも掲載予定である。

(市民部長)

- ・市民部でも7月21日に20代女性職員の感染が確認された。市民での濃厚接触者はないが、職場は消毒したうえで業務を継続している。本人の体調も悪化しているものではない。

(子ども家庭部長)

- ・小金井北ブチ・クレイシュの新型コロナウイルス陽性者は16名であった。本日から開園した。
- ・キッズガーデン小金井桜町では新型コロナウイルス陽性者が出たため、本日から休園中

ある。

(地域安全課長)

- ・防災行政無線の内容を変更した。放送日時に変更はないが、日曜、月曜、水曜、金曜は女性の声、火曜、木曜、土曜は男性の声で放送してきたが、本日から、この男性の声を市長の声に変更し、メッセージの順番も変更した。
- ・緊急事態宣言措置解除までの間、C o C oパトロール車による市内巡回広報を毎週水曜日の日中、金曜日の夜に1時間半程度行う。

(総務部長)

- ・職員の感染についてはホームページへ掲載しており、7月16日に庁内2名の感染をホームページに掲載した。4連休前の7月21日には各部長宛に4連休中の注意喚起メールを送信した。
- ・各部では職員の動向把握の強化に努めてほしい。職場では濃厚接触はでておらず、感染は家庭内感染等、職場以外が原因となっていることから職員の動向把握が鍵になってくる。

(福祉保健部長)

- ・ノーマスクの会から市長宛に要望書が届き、福祉保健部内で対応した。主張はマスク着用の強制はしないでほしいというものである。
- ・病気や障害等でマスク着用が困難な人がいることは了知しており、自立生活支援課がホームページにも掲載している。
- ・マスク着用については医師会の知見に基づき判断しており、正しい情報に基づきしっかりと対応してまいりたい。

(教育長)

- ・学校教育部から陽性者が出たことを受けて、シトラスリボンに取り組んでみる。

(子ども家庭部長)

- ・小金井保育園の職員1名の陽性が確認された。

以上